

小木の子 われら

校区内
全戸回覧

令和3年4月20日発行

R3年度の学校経営方針

校長 齋藤光夫

4月6日、爽やかな青空の下、満開となった桜ヶ丘に17名の新一年生を迎え、令和3年度がスタートしました。

8名の教職員が入れ替わる大異動の年となり、子どもたちも教職員も、気持ちを新たに新年度を迎えました。今年度の小木小学校の経営方針は次のとおりです。

1 目指す教師像

子どもの目線、保護者の立場、地域の願いを感じ、同僚と協働・共創する教師

2 目指す学校像

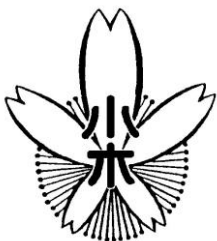
互いに寄り添い、関わり合う中で、よさや輝きを感じ、分かり合える学校
～大切にされていると実感し、安心できる居場所～

3 教育目標

なかよく かしこく たくましい子

4 重点目標

認め合い助け合う子 関わり合い学びを深める子 進んで体をきたえる子



小木小学校の校歌には、やさしい心を育てていこう、正しい心を鍛えていこう、雄々しい心を学んでいこう、と歌われています。学校と家庭、地域がそれぞれの立場、環境の中で、「子どもたちの成長を願い、見守り、育てる。」という同じ方向性をもって連携してこそ、やさしさは育まれ、正しさが鍛えられ、雄々しさ(善悪を判断し、勇気をもって行動する力)を学ぶことができます。

小木小学校の校章には、大・中・小の桜の花びらがかたどられています。それぞれ高・中・低学年の子どもたちであり、一致協力していく姿が願いに込められています。

学年の垣根を越え、互いに寄り添い、関わり合いながら、よさや輝きを感じ合える学校となるよう、教職員一同、精一杯務めてまいります。どうぞ、よろしく願いいたします。